



NISHI EYE HOSPITAL

# 西眼科だより 第17巻3号

(季刊誌)

2015年7月発行

編集責任者：倉橋美雪

## Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>

## 医療サービスの根幹は「人対人」

当院は昭和51年より院内のIT化を推し進めてまいりました。医事専用コンピュータは今年で6世代目に突入しさらに高性能になり、現在では「電子カルテ」、「画像ファイリング」、「予約管理」、「患者番号呼び出し」などあらゆる面でIT化が進んでおります。

しかし、院内のIT化がどんなに進んでも、医療サービスの根幹は、患者さんとの信頼関係に基づくものであり、最終的には『人対人』だと考えます。

当院は創立80年になります。基本理念である、

「患者さんの立場に立った、患者さんの満足する医療」  
「エビデンスに基づく最新の医療の提供」

「病院の機能が100%発揮できるように職員が努力する」を実現すべく努力を続けております。今後も患者さんの視点に立ち、明るい笑顔で対応するよう心がけ、患者さんが気持ちよく最新の診察・検査等を受けられるよう、職員一同さまざまな改善に取り組んでまいります。

今後も西眼科病院をよろしくお願い申し上げます。



医療法人仁志会 西眼科病院

事務長 竹原功吉

### 毎月〈無料説明会〉開催中

LASIK・屈折矯正(オルソケラトロジー・有水晶体眼内レンズ)

ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いのうえご参加ください。

8月1日(土)・9月5日(土)・

10月3日(土)・11月7日(土)

《午前10:30～(およそ1時間)

西眼科病院 1F 飲食コーナーにて》

### ご意見箱

院内待合室に「ご意見箱」を設置し、皆さまから当院への感想やご意見をお聞かせ頂いています。中には厳しいご意見もあります。すぐ対応できる事はアンケート委員会で話し合い改善・改革に努めてまいります。何かお気づきの点がありましたらご記入ください。

# 最新眼科治療

## フェムトセカンドレーザー 白内障手術

世界最先端の「フェムトセカンドレーザー白内障手術」を白内障手術に導入して2年半が過ぎました。水晶体囊の前面を真円かつ中心に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し眼の負担を少なくしております。より質の高い良好な視機能の獲得が期待されます。日本では厚生労働省にまだ承認されていませんので「自費診療」となります。

## プレミアムレンズ 《老視矯正眼内レンズ》

### 多焦点眼内レンズ

白内障手術に使用する眼内レンズには、「単焦点眼内レンズ」と「多焦点眼内レンズ」があります。単焦点眼内レンズはある一定の距離にピントがあう眼内レンズです。一方、多焦点眼内レンズには 多焦点(2重焦点)眼内レンズ：遠くにも近くにもピントが合う2重焦点眼内レンズと 多焦点(3重焦点)眼内レンズ：2重焦点眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m)にもピントが合う3重焦点眼内レンズの2種類があります。2重焦点眼内レンズは「先進医療」として厚生労働省に承認されていますが、3重焦点眼内レンズは先進医療として日本ではまだ承認されていませんので、術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

### ★アドオン(Add-On)追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている方に更にもう1枚 多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し遠方近方の両方に焦点が合うようにすることができます。3重焦点眼内レンズと同様に、日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されていませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

詳しくはスタッフまでお問い合わせください